

桑畑の立木トラスト地の手入れ作業、行われる

6月4日（日）の午後、所有する665本の桑の木の手入れが行われました。桑の木は成長が早いので、毎年3月～10月頃、定期的には手入れをする必要があります。

今回は、桑の株から出た徒長した側枝を切り取り、中心の数本のみを残すコバライという作業と、株元の除草作業の二つで、畑全体をすっきりとさせたため、風通しも良くなりました。



手入れが済んだ桑畑

参加した人数は、約15人ほどで、山梨リニア沿線住民の会やリニア・市民ネット、リニア中央新幹線研究会のメンバーとその関係者の人たちです。幸い好天に恵まれ、湿度も低かったため助かりましたが、かなり手間がかかり、13時30分頃に始めて、終わったのは17時30分頃でした。人手がもっとあれば、短時間で済んだのですが、今は農繁期のため、地元の農業従事者（最も手馴れた人たちです）の参加が少なかったことも、時間がかかった理由かもしれません。

また県外の方々も、畑仕事を楽しみながら手伝ってくれれば、交流も深められてよかったですと感じています。今回ハサミで怪我をされた方が出ました。慎重にやるよう注意したいと思います。

まだ株元除草は必要ですし、最後には枝切りがあります。多くの方々の参加をお待ちしています。（川村記）